

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

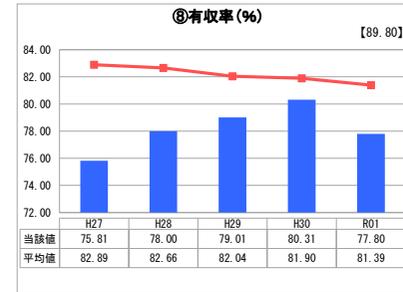
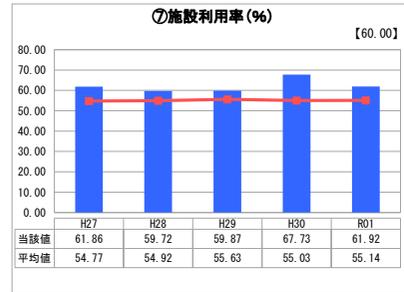
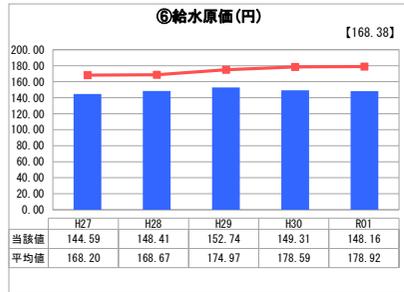
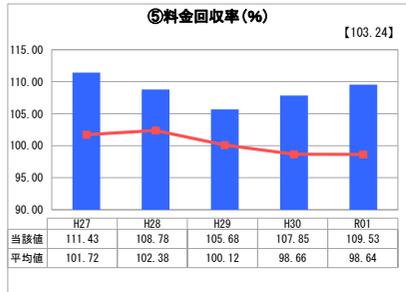
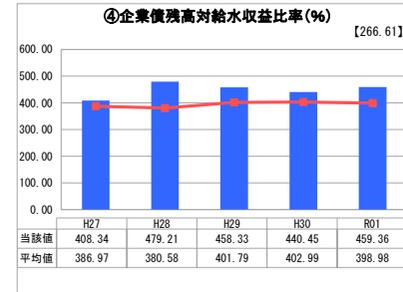
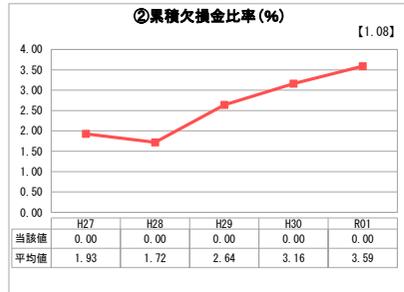
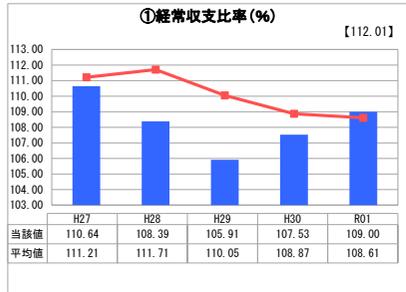
岐阜県 養老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	61.91	92.93	3,185	

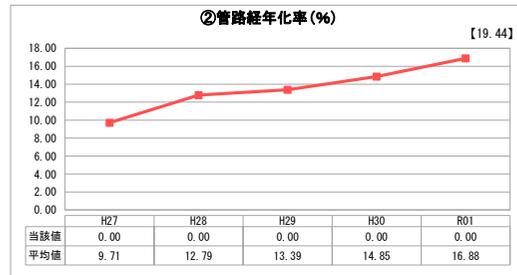
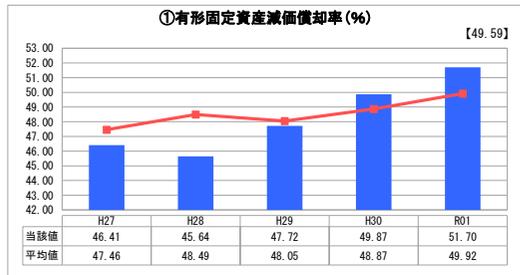
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
28,587	72.29	395.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,361	55.00	479.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・当町の経常収支比率は、100%以上で黒字ですが、今後の人口減少や節水機器の普及により、給水収益の減少が予想されることから、費用の削減を検討していく必要があると考えられます。

・企業債残高対給水収益比率は、全国及び類似団体平均より上回っていますが、これは簡易水道から上水道への統合及び耐震管布設替等の工事により企業債借入が増したためです。今後は、借入を最小限に留め計画的に事業を行っていきます。

・給水原価は、当町は良質な水源に恵まれているため、全国及び類似団体平均よりも低く抑えられています。また、料金回収率も100%を上回り、給水に必要な費用を料金回収で補うことができている。

・有収率は、全国及び類似団体平均より低い数値となっているため、漏水調査等を行い、有収率の改善に努めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

・有形固定資産原価償却率は、類似団体と同様に、年々上昇傾向にあります。管路経年化率は法定耐用年数を超えていないため0%ではありますが、供用開始当初の構築物の更新をするにあたり老朽化の激しい管路、漏水が疑われる管路等を優先し、管路更新を行う必要があります。

・管路更新率は、全国及び類似団体平均より低い水準ですが、新たに簡易水道から上水道への移行予定があるため、施設等の点検や修繕など適切な維持管理を行い、延命化を図りながら、経営を圧迫しないよう負担を平準化しつつ、計画的な施設及び管路の更新を行っていきます。

### 全体総括

・経常収支は黒字であり、累積欠損金もないため良好な経営状態であると考えます。しかしながら、老朽化に伴う維持管理費の増加や、施設・管路の更新に対応するためにも、さらなる経費削減を努めていく必要があります。今後、人口や水需要の動向に注意しながら、施設の見直しや更新の検討を行い、計画的かつ効率的な経営に努めていきます。